

(Lonely Night Gathering)

さみしい夜の句会報 第1331号 (2023. 8. 20-2023. 8. 27)

- ◆ 参加者：流天、しまねくん、ダリア220、東(ト)ノ、That perches
in the soul、キー、古城えこ(きよとひ)、石川聡、syusyu、はゆや
咲くら、佐竹紫田、水の眠り、Hyunoppa、突波、西脇祥貴、輪井ゆう、
石原とつき、元さん、西沢葉火、鴨川ねぎ、うつわ、何となく短歌
太代祐一、雪上牡丹餅、片羽anju、雲雀、crazy lover、もふもふ、花
野玖、なさらむ、雷(らい)、とるぼとる、ゆりのはな、おかもと
かも、Born Slippy(モンモン)、上崎、しろとも、蔭一郎、りゅうせ
ん、ひつま、修平、宮坂葵哲、ビックたん、高良俊礼、みおうたかふ
み、温(ぬ)、海馬、Take、涼閑、Tul、みんなん、Tatsuo Kanase、
汐田大輝、奥、かすみ、睦月ヨシ、萬葉、岡村知昭、とびら、あやめ、
森砂季、佐竹紫田、行、碧乃そら、まつりぺきん、ゆう(かっし)、
moa、創 / So、たりりずむ、もん、ササキリユウイチ、月波与生
(七)名

- ◆ 7・7、5・7・5 (川柳・俳句)
プラスチックの夏並べ寒い店 輪井ゆう
残暑の所為思い出せないあなたのかたち ダリア 220
裏方でずつとかかはりたき佞武多 syusyu
いつもいる背中と店主らしき人 雷
とりあえずビール以外のふくらはぎ 海馬
時報とは輪郭がないバトンリレー おかもとかも
巻き戻し再生可能な屋上や 水の眠り
正露丸臭いバスから降りて泣く 岡村知昭
あなたへの裸体をしまふ処暑の風 syusyu
恋文の怪文書めく星祭 花野玖
ポテトチップス白けた咀嚼 丸山修平

空っぱの鳩は空っぱの音出す 修平

送火を炊けば初潮が来た印 しまねこくん

雨の日のこおろぎにだけ停まるバス 蔭一郎

底紅やチアリーダーを少しだけ SYUSJU

ヌードルの♡分のちの嫌な声 太代祐一

どこまでもするめの味の宇宙とは 太代祐一

野次馬は同じ顔して遠花火 しまねこくん

主義あれど種なしシャイン・マスカット 石川聡

北極へ行かない父の巨神兵 西脇祥貴

大気から灌のやうな汗夕立くる 流天

真夜中のアイス、秘密がまたひとつ 東こころ

桃の実を剥く哀しみを剥くやうに 佐竹紫円

母星としてはいわゆる摩擦でいいじゃん 石原とつき

大切に肌身花挿す 西沢葉火

大漁を祝う夢見て猫ころん 鴨川ねぎ

大瀑の底から見上げる宇宙人 うつわ

白雪姫が♡をする 雪上牡丹餅

角が折れても鬼は鬼 片羽雲雀

木陰涼し灼熱晩夏に変わる葉色 crazy lover

残暑とは名ばかりの日々すすむ酒 もふもふ

今日だけはカーテン越しの月と泣く なさわい

惹かれ合うただそれだけの桔梗かな hyuntoppa

死にたいは生きたいの声八月尽 ゆりのはな

片頭痛、でも月に罪はなさそう 上崎

雨も今日という日も容赦なかった しろとも

一線を越えたらサバクトビバッタ りゆうせん

チヨメチヨメやチヨメチヨメチヨメの蒸し上る ひうま

死んでなければ生きてると言えるのか 宮坂変哲

買つてない後で♡人で買いに行こ ビツケたん

淋しさの呼称に透けている光 高良俊礼

遠い朝薄い明かりが訪れる優しい光心を癒す 元さん
甘い甘い想い出ばかり死に際まで私は覚えていられるでし
ようか 何となく短歌

知らぬふりしてただけなの今のうち弱い私の必殺の武器
とるぼどーる

綿飴の雲に乗っかり旅したい雨で雲が溶けぬうちに 温

(20)

譲られるそんな事は当たり前そう言う顔が街を歩いて

Take

おもむろにちよい足りないといふりかけるタバスコ色のワタ
クシらしさ 奥 かすみ

寺子屋で初めて知った有り難みいつでも麦茶、座布団正座
凧ちひろ

虚構と昔の記憶をたぐり寄せ 今宵もキミの夢を見せられ
る 萬某

夜遅く一人起きてる 僕だから画面越しには絆がほしいの
とびら

夕立に空も心も洗われて虹が架かれば生き直せるかな 碧
乃 そら

得ては失つてもしかしての後悔繰り返す寂しく一途に 月
色萌果

◆詩

霊感体質とか見えすぎて困ると感じたことはないけれど、
もしそこに幽霊がいるなら、むやみに怖がったり悪者扱い
したりせず、できるだけちゃんとお話を聞いてあげたいっ
て思う。

きつとみんなにわかって欲しい強い思いがあるからこそ幽
霊になるのだと思うから。(創 / Soh)

◆作品評から

愛を持って北野武の銃を持って 修平

サルビアを吸ったくちびる武井壯 水の眠り

～固有名詞を生かした2句。固有名詞はマリファナに似ているのでほどよい頻度でのご使用を。禁断症状あります。

(月波与生)

グレースけりをつけモナコ 西沢葉火

～これだけのことを12音で言い切ってしまう言葉の幹
旋は凄い。地口が凄さを相殺してしまうのは作者としても
痛し痒しか想定内か。(月波与生)

のび太ならどうするだろうと考える 海馬

～ドラえもんが登場人物を詠んだ句はアンソロジーを編
めるほどだ。始まりは〈ドラえもんの青を探しにゆきませ
んか 石田柊馬〉と思うがこれより古い句があれば紹介し
てほしい(月波与生)

～「のび太」という固有名詞で誰もが知っているキャラ
クターの、誰でもない感覚を表現できる。

あらゆる人の中に住む「のび太」は、誰でもない「のび太」
であることを、改めて感じさせられます。(みおうたかふみ)

白雪姫が∞をする 雪上牡丹餅

～性愛句集倶楽部句、ほかのもふくめていちいちおもしろ
いです……(ササキリユウイチ)

～ド直球ストレートで面白いです!

ハイホーハイホーと歌いながらこびと達と致す∞人の朗ら

かな景が浮かびますね。

原作では獵師に撃たせたはずの白雪姫が魔法の鏡に映った事で王妃自ら始末に行くのですが、この様子が映ったら殺意がどうでもよくなりそうです。(森砂季)

ストライクゾーンクジラ一頭分外す 雪上牡丹餅

〜クソボールだろ！という突っ込みを期待するが(まあ、私も結構活躍してるみたいなんですけども、宇宙から見たらもうどうでもいいですね。森田一義)と言う人もいて(月波与生)

ポテトチップス白けた咀嚼 丸山修平

〜音が面白いですね。

「ポテトチップス」の破裂音もさることながら、後半の *shī, so, sha* っか。(ま(り)ぺ(きん))

仕方がないのでジョージ高野で許可する 石原とつき

〜ジョージ高野と初代タイガーマスク(佐山)は新日本プロレスでの同期。狡猾な男らしい。「仕方ない」「許可する」の言葉がジョージ高野の生き方に吸収される。(月波与生)

非常ベル押せば鰯の眼が並ぶ 蔭一郎

〜蔭一郎句にはサイケデリックなトリップ感がある。ルーシーはダイヤモンドを抱えて空の上的なのだ。ほとんどの人は「意味不明」だろうが熱狂的読み手が付くと思うのでめげないで(月波与生)

色街の葱はうなじに紅をさす いずみ

〜川柳は分別がある大人の遊びだ。それを理解できぬ人が増えてつまらない川柳、つまらない場を増やしている。

掲句、「色街の葱」がとてもいいが提出できる場が少ない。
(月波与生)

午後五時の洗濯槽と海の距離 上崎

さよならを今日いちばんの距離感で 上崎

〜どちらも「距離」の使い方がとてもいい。Eo句並べたら素晴らしい世界が現れる予感。わたしたちはすべての存在と一定ではない距離がある (月波与生)

死んでなければ生きてると言えるのか。 宮坂変哲

〜あ、いまそれ

仕事前はいつもそれ

給料日に額をみて一番思うのもそれ (あおいひなた)